

2022年2月23日

2021年度聖路加国際大学大学院看護学研究科

修士論文

医療機関における看護部トップマネジャーが認識する看護師長の昇進の決定
要素

**Factors that Determine the Promotion of Nurse Administrators
Identified by Nursing Directors in Hospitals**

19MN003

安藤弓子

要旨

医療機関における看護部トップマネジャーが認識する看護師長の昇進の決定要素

19MN003 安藤弓子

【目的】医療機関の看護部トップマネジャー（以下、看護部トップマネジャー）は、看護部組織の責任者として、状況に応じて最も高いパフォーマンスを発揮すると予測される人物を看護師長として選出している。その独自の判断基準や選考において看護部トップマネジャーが重要視する要素に関する知見は集積されておらず、看護部トップマネジャーが看護師長となる人物に保持することを期待する能力等は不明確である。そのため、看護部トップマネジャーが、新たな看護師長の昇進を決定する際に重要視する要素を明らかにすることにより、患者中心のマネジメントを通して組織に貢献できる看護師長の選考及び育成のための示唆を得ることを目的に本研究を行った。

【方法】半構造化インタビューを用いた質的記述的研究である。看護師長昇進に複数回（2人以上）関わった経験があり、かつ看護部トップマネジャー経験年数5年以上の者に対して面接調査を実施した。看護師長の昇進において重要視すること、その理由、評価方法を事例ごとにまとめた上で、全事例において共通する部分や類似する部分を統合した。

【結果】研究参加者は9名、看護部トップマネジャー経験年数は5～15年（平均8.5年）であった。各々が昇進に関わった看護師長の人数は3～19人であった。インタビュー内容を統合したところ、彼らが認識する看護師長の昇進決定要素は、28あった。この28の要素は、11のサブカテゴリーに統合できた。更に、11のサブカテゴリーは、4つのカテゴリーにまとまった。看護師長候補者が持つ＜個人の中心的な要素＞は【看護師としての信念と実践力】、【自己の理解とコントロール】、【明確な昇進意欲】、【仕事と生活のバランス】の4つのサブカテゴリーからなり、＜人々や状況を理解する要素＞は、【他者への理解と関係の構築】、【エンパワメント】の2つのサブカテゴリーから構成され、業務上の＜課題への取り組み方に関する要素＞は、【全体最適思考】、【チームの目的・目標の達成】、【前向きな変化の創造】の3つのサブカテゴリーからなる。これらの要素を取り囲む＜周辺的な要素＞は【看護部内外の関係者からの承認】、【全体の人事の最適化とのバランス】の2つのサブカテゴリーで構成される。

【結論】看護部トップマネジャーが認識する昇進決定要素は28あった。患者中心のマネジメントを通して組織に貢献できる看護師長の選考及び育成のためには、「看護師長候補者に期待する役割と成果の明確化」、「全体最適思考の醸成」、「対人関係理解」の能力向上のための取り組み、「明確な昇進意欲に必要な看護師長職の魅力の発信」、「仕事と生活のバランスをとるための看護師長の配置の工夫」、「看護師長に求める看護管理能力と評価方法の明確化」、「多面的評価の活用」、「看護管理者へ挑戦できる仕組みの構築」、「計画的な人材育成によるポストとの適合性の向上」が必要である。